

ジャカビ服用中に感染症に気をつけなければいけない方

ジャカビ治療を受ける
患者さん・ご家族の方へ

- 白血球数が低下している方
- 現在、結核にかかっている方
- 過去に、結核にかかったことのある方
(胸部レントゲンで結核の治癒像が確認された方)
- 6ヶ月以内に、結核を発病した人と接触があった方
- 現在、ウイルス性感染にかかっている方
(キャリアの方を含む)
- 過去に、ウイルス性肝炎にかかったことのある方
(既往感染者)
- 以下のような合併症のある方
✓ COPD (慢性閉塞性肺疾患) ✓ 喘息 ✓ 糖尿病
- ステロイド剤などの免疫抑制剤を服用している方
- 高齢の方
- 同種造血幹細胞移植を受けられた方

など

病院名

担当医

連絡先

感染症を早期発見 するために



ジャカビ服用中は**感染症があらわれやすい状態**になっており、^{ひよりみ}日和見感染症や感染症の重症化に注意が必要です。

細菌やウイルスのなかには、免疫の働き(抵抗力)が正常な健康な方には感染しにくい感染力の弱いものがあります。このような細菌やウイルスは免疫の働きが低下している方に感染すると、病気をおこすことがあります。これを日和見感染症といいます。

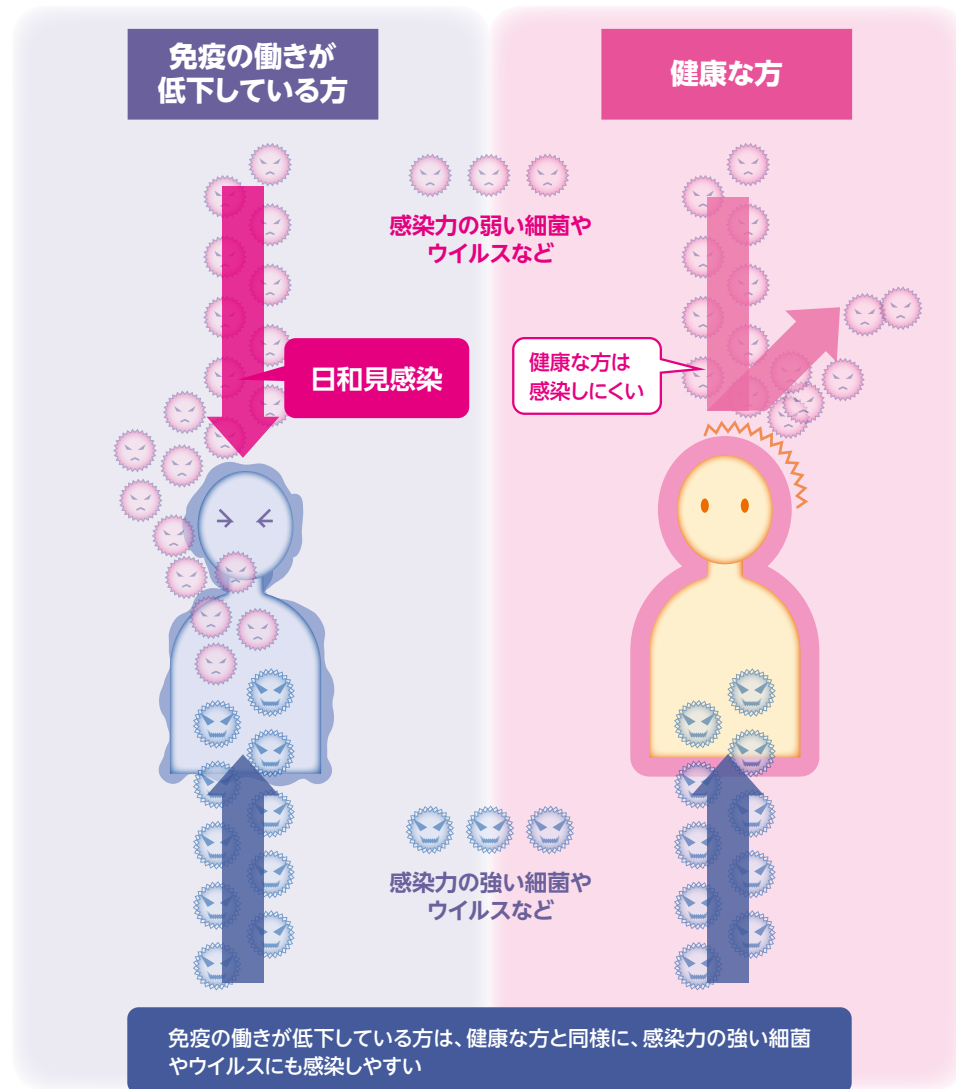
ジャカビは免疫の働きを低下させることがあり、細菌やウイルスから身を守る白血球の数を減少させることがあるため、ジャカビ服用中の方は日和見感染症にかかるリスクや感染症が重症化するリスクが高まっています。

ジャカビの服用にあたって

- ・結核やウイルス性肝炎(⇒P5)に過去にかかったことがある方、現在かかっている方は必ず主治医に伝えてください。
- ・ジャカビの服用開始前に重篤な感染症にかかっている場合には、回復するまで服用を始めることができません。
- ・ジャカビ服用中に異常を感じた場合は、直ちに医療機関を受診してください。

感染症を疑う症状

- ・一般にみられる全身症状として、これまでになかった発熱、体がだるい、などの体調変化がみられます。
- ・感染症がおきた臓器(皮膚、膀胱や腎臓、肺、肝臓など)^{ぼうこう}により、それぞれ特徴的な症状がみられます(⇒P4-7)。



普段から手洗い、うがい、マスク着用、人ごみを避ける、など感染症を防ぐように心がけ、感染症の疑いがある場合は直ちに医療機関を受診してください。

ジャカビ服用中にとくに注意していただきたい**感染症として** たいじょうほうしん **帯状疱疹、尿路感染、結核、ウイルス性肝炎**などがあります。
感染症の早期発見・早期治療のため、**かかり始めの症状に** 気づいたら直ちに医療機関を受診してください。

● 帯状疱疹

- みずぼうそう
- ・小児期に水疱瘡をおこしたウイルスが神経に潜んでいる状態で、免疫の働きが低下していると、ウイルスが再び活性化し、体の片側の神経痛と水ぶくれのような発疹が帯状にあらわれる病気です。
 - ・帯状疱疹は重症化すると激しい痛みが持続し、後遺症を残すリスクが高まります。
 - ・帯状疱疹による発疹の前ぶれ症状(皮膚がピリピリ、チクチクする)があらわれたら、すぐに医療機関を受診してください。

(症状) 皮膚のかゆみ、痛みを伴う赤い発疹・水ぶくれ(帯状に広がる、体の片側だけに出る)、発熱や頭痛 など



● 尿路感染(膀胱や腎臓の感染症)

- ぼうこう
- ・細菌が腎臓、膀胱、尿管(腎臓と膀胱をつなぐ管)、尿道に感染しておこる病気です。
 - ・大腸菌(腸の中の常在菌)が原因となる場合が多いです。尿道の短い女性の方が男性に比べてあらわれやすく、膀胱や腎臓の炎症をおこします。
 - ・かかり始めは尿路感染に特徴的な症状はありません。排尿時に痛みを感じたら、尿路感染を疑い、すぐに医療機関を受診してください。

(症状) さむけ・発熱、腰の痛み、吐き気・嘔吐、頻尿、排尿時の痛み など



● 結核

- ・結核菌が気道を通した空気感染でおこる病気です。
- ・ジャカビの服用により、結核菌が再び活性化することがあるため、過去に結核菌に感染したことがある場合や結核を発病した人と接触したことのある方は医師に申し出てください。
- ・かかり始めの症状は風邪に似ており、見過ごされがちですが、次のような症状に気づいたら、すぐに医療機関を受診してください。

(症状) 長引く咳や痰(血が混じることもある)、長引く発熱(微熱)、体がだるい、寝汗、胸の痛み、食欲がない、体重減少 など



● ウイルス性肝炎

- ・肝炎ウイルスに感染し、肝臓の働きが低下する病気です。
- ・ジャカビの服用により、B型肝炎ウイルスが再び活性化してB型肝炎をおこすことがあります。
- ・ウイルス性肝炎が重症化すると死亡に至ることがあります。
- ・ジャカビの投与前にB型肝炎ウイルスの感染の有無を確認し、感染している方(キャリア)や過去に感染したことがある方(既往感染者)は定期的に検査を行い、ウイルスの量を調べます。
- ・かかり始めの症状は風邪に似ています。キャリアや既往感染者の方は、症状がみられたら、すぐに医療機関を受診してください。

(症状) 発熱、喉の痛み、頭痛など(風邪に似た症状)、皮膚や尿が黄色くなる、食欲不振、体がだるい、吐き気・嘔吐、腹痛 など



上記以外にも体の異常を感じた場合 は直ちに医療機関を受診してください。

造血幹細胞移植を受けられた方は免疫の働き
移植片対宿主病 (GVHD) でジャカビを服用中
少しでも異変に気がいたら医療機関を受診

が低下しており、感染症がおこりやすい状態となっています。
の方は前のページ (P4,5) の感染症とあわせて注意が必要です。
してください。

入院中または移植後早期 (~100日以内) によくみられる感染症 (急性GVHD)

● サイトメガロウイルス感染症

- ・感染したサイトメガロウイルスが活性化して、肺炎、胃腸炎、網膜炎、肝炎などを引き起こす病気です。
- ・免疫の働きが正常な方は症状はあらわれませんが、免疫の働きが低下している方に症状があらわれやすいです。
- ・ご自身またはドナーがサイトメガロウイルス陽性の場合、リスクが高いとされているため、症状がみられたら、すぐに医療機関を受診してください。

(症状) 発熱 (38℃以上)、体がだるい、関節痛、筋肉痛、痰を伴わない咳、呼吸困難、吐き気・嘔吐、腹痛、下痢 など



● 肺炎

- ・細菌やウイルスなどに感染して、肺に炎症をおこす病気です。
- ・サイトメガロウイルスなどのウイルスやアスペルギルスという真菌などが原因となることがあります。
- ・風邪に似ており、見過ごされがちですが、高熱が数日間つづき、呼吸が苦しいなどの症状がみられたら、すぐに医療機関を受診してください。

(症状) 体がだるい、痰がからんだ咳、息切れ、さむけ・発熱、胸の痛み など



● 敗血症

- ・特定の細菌に感染したことをきっかけに、体の重要な臓器に障害がおこる病気です。
- ・免疫の働きが低下していると、発症するリスクが高まります。
- ・早期に気づくことで、悪化を防ぐことができるので、症状がみられたらすぐに医療機関を受診してください。

(症状) さむけ・発熱、体の痛み、皮膚が冷たく湿っぽい、体の不快感、意識低下、息切れ、頻脈 など



退院後または移植後100日以降によくみられる感染症 (慢性GVHD)

● 肺炎

- ・細菌やウイルスなどに感染して、肺に炎症をおこす病気です。
- ・肺炎球菌などの細菌やニューモシスチスという真菌などが原因となることがあります。
- ・風邪に似ており、見過ごされがちですが、高熱が数日間つづき、呼吸が苦しいなどの症状がみられたら、すぐに医療機関を受診してください。

(症状) 体がだるい、痰がからんだ咳、息切れ、さむけ・発熱、胸の痛み など

● 上気道感染

- ・ウイルスなどが鼻腔や喉 (咽頭・喉頭) に感染しておこる病気です。
- ・一般的に風邪といわれているものですが、移植後の方は、上気道感染にとどまらず、下気道 (気管、気管支、肺泡など) 感染症へ進行してしまう場合もあります。
- ・風邪の症状がみられた場合も放置せずに、医療機関を受診してください。

(症状) 発熱、鼻水、喉の痛み、咳 など



● 上咽頭炎

- ・上気道感染のうち、鼻と喉の間 (上咽頭) に炎症をおこす病気です。
- ・細菌やウイルスに感染すると、喉が赤くはれます。
- ・次のような症状に気づいたら医療機関を受診してください。

(症状) 鼻と喉の間の痛み、唾を飲み込むときの痛み、体がだるい、発熱 など

● インフルエンザ

- ・インフルエンザウイルスが肺と気道に感染しておこる病気です。
- ・移植後の患者の方はインフルエンザにかかった後に肺炎になるリスクが高いとされています。
- ・風邪とは異なり、38℃以上の高熱や全身症状が強くみられたら、すぐに医療機関を受診してください。

(症状) 発熱 (通常38℃以上の高熱)、頭痛、体がだるい、筋肉痛、関節痛 など



上記以外にも体の異常を感じた場合は直ちに医療機関を受診してください。